

「日経転職版 資格と学び直しに関する意識調査」

役立つ資格1位PMP、取りたい資格は中小企業診断士とAI検定

日経HR（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤恵）は2023年6月下旬から7月上旬にかけて、「日経転職版 資格と学び直しに関する意識調査」を実施し、948人から回答を得ました。リスキリング（学び直し）への関心が高まるなか、実際の仕事や人材評価で強みになる資格やこれから取得したいと考えている資格、リスキリングの取り組み実態についてまとめました。

●詳細は「日経転職版」(<https://career.nikkei.com/knowhow/market/002675/>)でも公開中！

■役立つ資格ランキング

○1位はプロマネ（PMP）、2位 MBA、3位 TOEIC800点台 >> 詳細は 2 ページ

■取りたい資格ランキング

・スタンダード資格 ○1位 中小企業診断士、2位 TOEIC900点台、3位 簿記2級
・トレンド資格 ○1位 AI検定、2位 統計検定、3位 データサイエンティスト検定
>> 詳細は 3 ページ

■リスキリングの認知度

○「理解している」は80%、「知らない」は8% >> 詳細は 4 ページ

■リスキリングは自分に必要だと思うか

○「とても必要」51.2%、「まあ必要」39.5% >> 詳細は 4 ページ

■リスキリングの取り組み状況

○「取り組んでいる（自主的に）」53%、「取り組んでいない」39% >> 詳細は 5 ページ

■取り組んでいるリスキリングの分野

○「トップは「英語」34%、「IT・ウェブ」「会計・財務諸表」が続く >> 詳細は 5 ページ

■リスキリングの方法

○「「専門書の購入」が53%、有料のオンライン・アプリ講座は27% >> 詳細は 6 ページ

■リスキリングをしていない理由

○「時間がない」45%、「何を学べばいいのか分からない」も3割超 >> 詳細は 6 ページ

問い合わせ先

株式会社日経HR コンテンツ事業本部 TEL：03-6812-7303（担当：高石、町田）

< 調査概要 >

◎調査対象：「日経転職版」登録会員 ◎調査期間：2023年6月26日～7月3日

◎調査方法：メールにて依頼し、Webサイトで回答 ◎回答者数：948人

※評価された資格の集計方法について：取得資格について、自己評価（仕事で役に立った）と他者評価（会社で評価された／転職市場で評価された）を0点～5点で回答してもらいました。有効回答のうち、自己評価の平均点と他者評価の平均点を単純合計し、総合点としました。回答者数による重みづけは行っていません。回答者数が一定水準以上に達した資格をランキングの対象としました。

※調査では「スタンダード資格」「トレンド資格」を以下のように定義しました。スタンダード資格：一般的に広く認知されていて、日経転職版の会員登録や求人情報の応募条件に記載のある資格など。トレンド資格：2020年前後に生まれた比較的新しい資格や、その他デジタル関連の資格など。

■役立つ資格ランキング

1位はプロマネ（PMP）、2位 MBA、3位 TOEIC800点台

日経転職版会員に、保有している資格について自己評価（仕事で役に立った）と他者評価（会社で評価された／転職市場で評価された）で点数付けしてもらい、合計点でランキングしました。自己評価の平均値は1.32点、他者評価の平均値は1.29点、総合点の平均値は2.61点でした。

役立つ資格の1位は、IT業界などでプロジェクトマネージャー（PM）のスキルを示す、「PMP（プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル）」（6.95点）でした。ITエンジニアを管理してプロジェクトを遂行するPMは、IT業界で需要の高い職種です。

2位は、経営について事業開発や財務会計、組織管理など幅広く学ぶ「MBA（経営学修士）」（6.84点）です。ビジネスを体系的に学ぶことからビジネスパーソンに人気の分野で、特に自己評価は上位20位中もっとも高く3.61点でした。3位は、英語資格から「TOEIC L&R800点台」が6.56点でランクインしました。TOEIC800点台は「英語が使える」と認められるレベルで、外資系企業や海外部門への応募条件の目安となっています。

順位	資格名	自己評価 の平均点	他者評価 の平均点	総合点（自 己評価＋他 者評価）
1	PMP（プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル）	3.30	3.65	6.95
2	MBA（経営学修士）	3.61	3.23	6.84
3	TOEIC L&R 800点台	3.36	3.20	6.56
4	一級建築士	2.58	3.94	6.52
5	MOS（マイクロソフト認定オフィススペシャリスト）	3.21	3.07	6.28
6	TOEIC L&R 900点台	3.11	3.06	6.17
7	技術士（建設部門）	2.75	3.36	6.11
8	簿記検定2級（日商）	3.32	2.72	6.04
9	中小企業診断士	2.78	2.75	5.53
10	証券アナリスト	2.93	2.49	5.42
11	TOEIC L&R 700点台	2.73	2.64	5.37
12	社会保険労務士	2.62	2.61	5.23
13	CIA（公認内部監査人）	2.63	2.56	5.19
14	衛生管理者	2.54	2.53	5.07
15	宅地建物取引士	2.74	2.30	5.04
16	弁理士	2.07	2.85	4.92
17	監理技術者	2.40	2.50	4.90
18	簿記検定3級（日商）	2.87	2.02	4.89
19	1級土木施工管理技士	2.24	2.64	4.88
20	知的財産管理技能検定2級	2.80	2.00	4.80

■取りたい資格ランキング《スタンダード資格》

1位は中小企業診断士、2位 TOEIC900点台、3位 簿記2級

これから取りたい資格は、広く一般的に認知されている「スタンダード資格」と、2020年前後に生まれた新資格やデジタル系資格を集めた「トレンド資格」について聞きました（それぞれ複数回答）。

取りたい資格《スタンダード資格》の1位は、経営コンサルティングの能力を示す国家資格、中小企業診断士。2位は英語資格の「TOEIC L&R900点台」、3位は「簿記検定2級（日商）」でした。転職時のアピールや将来の独立を考えて、取得を目指す人が多くみられました。

順位	資格名	投票数
1	中小企業診断士	84
2	TOEIC L&R 900点台	74
3	簿記検定2級（日商）	68
4	TOEIC L&R 800点台	58
5	TOEIC L&R 700点台	57
6	社会保険労務士	54
7	宅地建物取引士	48
7	基本情報技術者	48
9	FP（ファイナンシャル・プランニング）技能検定1級	44
9	FP（ファイナンシャル・プランニング）技能検定2級	44

■取りたい資格ランキング《トレンド資格》

1位はAI検定、2位 統計検定、3位 データサイエンティスト検定

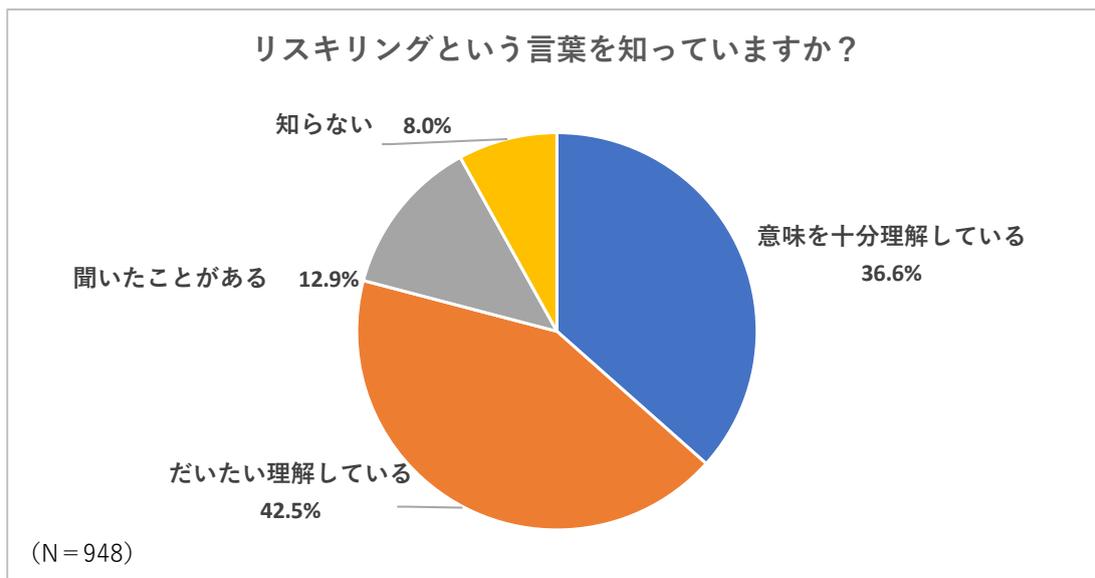
取りたい資格《トレンド資格》の1位はAIの基礎知識や業務利用の能力を認定する「AI検定」、2位は統計知識や活用力を評価する「統計検定」、3位はデータサイエンティストとして求められるスキル・知識を問う「データサイエンティスト検定（DS検定）リテラシーレベル」でした。時代の変化に対応すべく、AIやデータ分析の専門知識や技能を磨きたい人が多くみられました。

順位	資格名	投票数
1	AI 検定	147
2	統計検定	118
3	データサイエンティスト検定（DS検定）リテラシーレベル	106
4	データ分析実務スキル検定	91
5	SDGs検定	75
6	G検定	68
7	無人航空機操縦士	63
8	サステナビリティ検定	53
9	サステナ経営検定（サステナブル経営／CSR検定）	39
10	SNSマーケティング検定	36

■ リスキリングの認知度

「理解している」は80%、「知らない」は8%

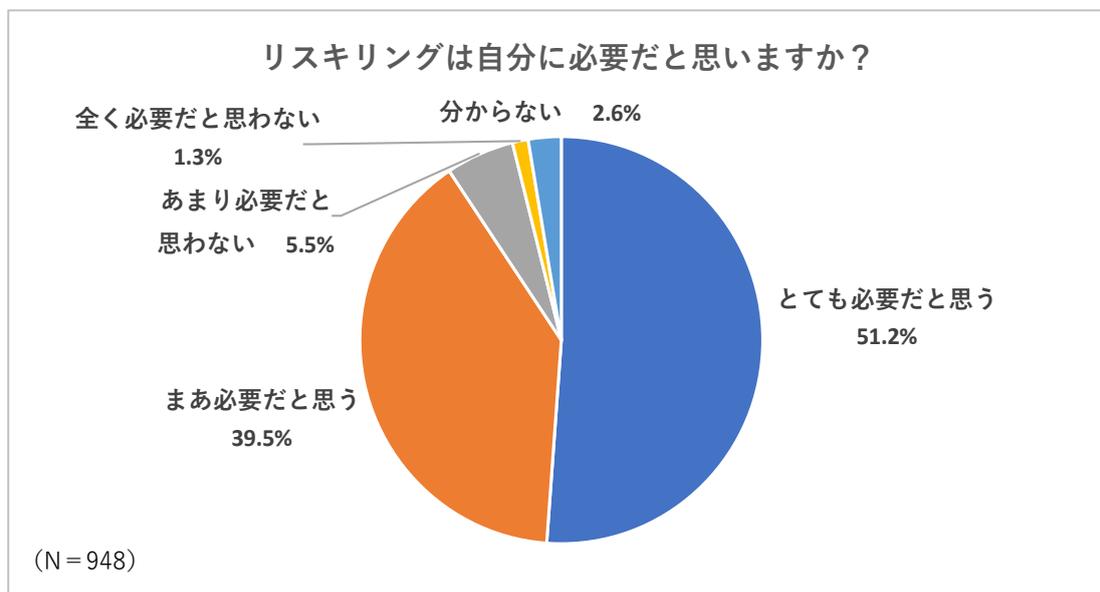
「リスキリング」という言葉を知っているかを聞いたところ、「意味を十分理解している」が36.6%、「だいたい理解している」が42.5%となり、約8割が知っているという結果になりました。「聞いたことがある」まで含めると9割超になり、広く認知されていることが分かります。



■ リスキリングは自分に必要だと思うか

「とても必要」51.2%、「まあ必要」39.5%

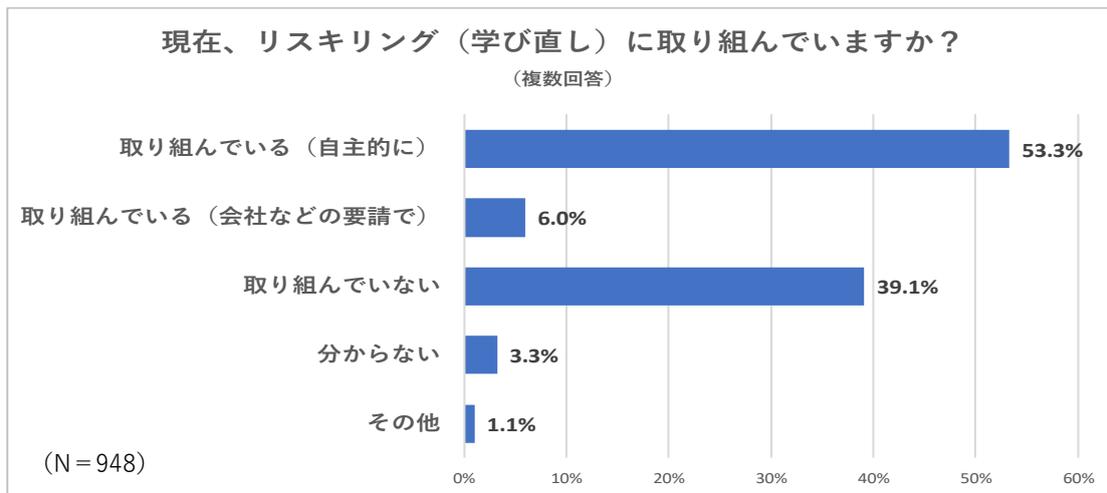
自分にとってリスキリングは必要かを聞いたところ、「とても必要だと思う」(51.2%)と「まあ必要だと思う」(39.5%)を合わせると約9割を占め、大半の人がその必要性を感じているようです。



■リスキングの取り組み状況

「取り組んでいる（自主的に）」53%、「取り組んでいない」39%

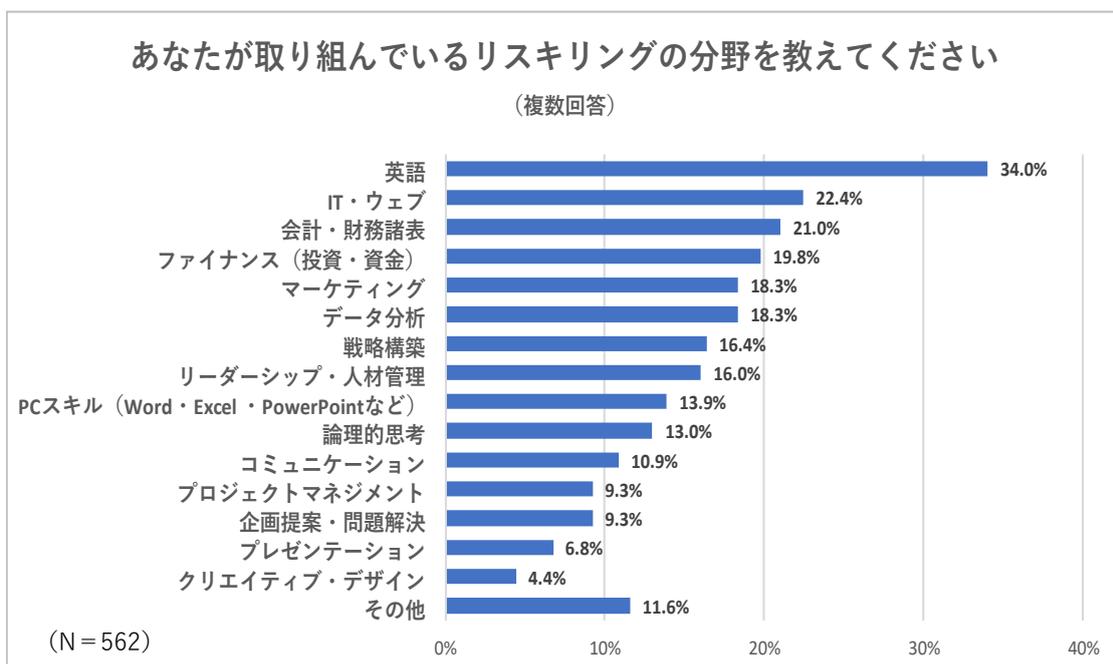
リスキングの取り組み状況を聞いたところ、「取り組んでいる（自主的に）」が53.3%、「取り組んでいる（会社などの要請で）」が6.0%になり、半数以上が何らかの分野のリスキングに取り組んでいる結果になりました。一方で「取り組んでいない」が39.1%となり、（上記質問で）多くの人がその必要性は感じているものの、実際には取り組めていない姿も見えてきました。



■取り組んでいるリスキングの分野

トップは「英語」34%、「IT・ウェブ」「会計・財務諸表」が続く

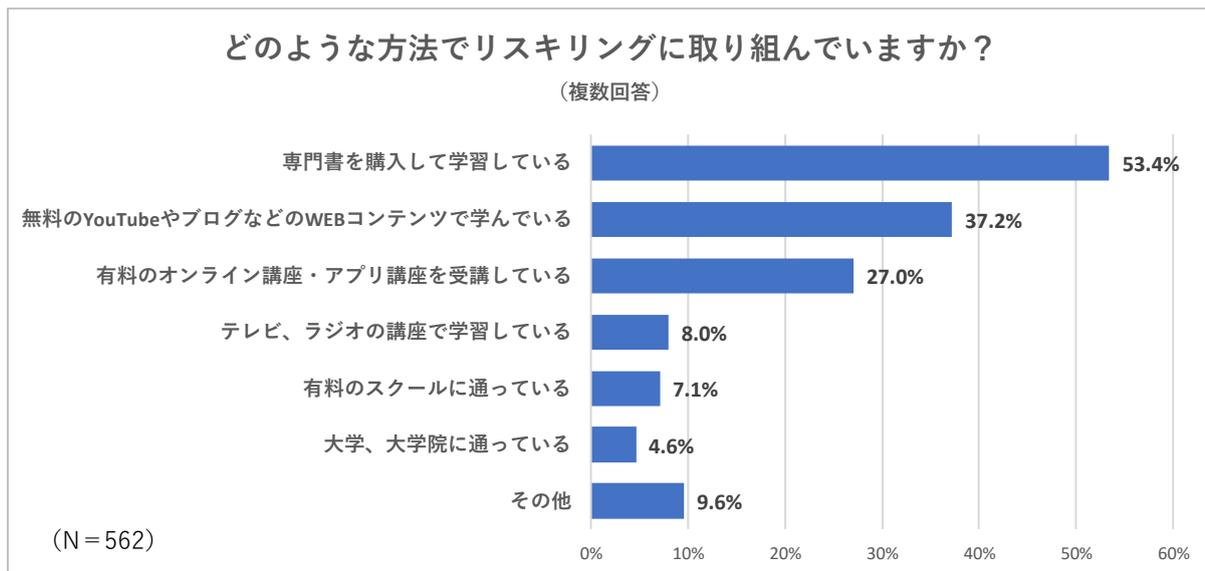
リスキングに「取り組んでいる（自主的に／会社などの要請で）」と回答した人にその分野を聞いたところ、「英語」（34.0%）が最多でした。「IT・ウェブ」（22.4%）、「会計・財務諸表」（21.0%）、「ファイナンス（投資・資金）」（19.8%）が続き、ITや金融・会計分野への関心も高いようです。



■リスキングの方法

「専門書の購入」が53%、有料のオンライン・アプリ講座は27%

リスキングの方法では「専門書を購入して学習している」が53.4%と最も多くなり、「無料のYouTubeやブログなどのWEBコンテンツで学んでいる」(37.2%)が続きました。有料のオンラインやアプリ講座を受講している人は27.0%、有料のスクールや大学・大学院に通っている人は5%前後いました。



■リスキングをしていない理由

「時間がない」45%、「何を学ばいいのか分からない」も3割超

リスキングに「取り組んでいない」と回答した人に理由を尋ねたところ、「時間がない」(45.8%)、「何を学ばいいのか分からない」(34.8%)、「お金がない」(29.4%)の順になりました。「以前やっていたが現在は取り組んでいない」(7.8%)との回答もありました。

